

こうげ 62 議会

2021.5



新型コロナウイルスワクチン 接種シミュレーション



令和3年第1回定例会(3月議会)

会期: 令和3年3月2日(火)~12日(金)

議会がチェック! 今年度の注目事業!

令和3年度 一般会計予算	58億8000万円可決!	2
令和2年度 一般会計補正予算	2165万円追加可決!	4
委員会報告(文教厚生常任委員会・総務産業建設常任委員会・予算決算常任委員会)		5
議案議決結果及び議員別賛否一覧表		8
一般質問 ここが聞きたい! 6人登壇		10
報告 議会全員協議会町内視察・豊前市外二町清掃施設組合議会報告		16
住民登場コーナー・全国町村議会議長会並びに福岡県町村議会議長会表彰・議会傍聴のご案内・編集後記		18

住民登場 コーナー

社会福祉協議会職員 小林 昌貴さん(西友枝)



- Q** 社会福祉協議会で働くようになって何年ですか?
また、どんなお仕事をしていますか?
- A** 今年で5年目です。地域活動の支援やげんきの杜管理業務などを担当しています。得意な脳トレやゲームなどのレクリエーション活動を通して、地域の皆さんで楽しむ活動のお手伝いもできますので、気軽に声をかけてください。また、コロナ禍でも自宅に閉じこもりがちにならないようにと「ひまわりプロジェクト」を企画しました。これからも地域が元気になり、笑顔が広がる活動を計画していきたいです。
※社協だより4月号をご覧ください。
- Q** 地域やそこに住む方々のことを考える気持ちは、どこからやってきたのですか?
- A** 青豊高校時代にインターアクト部の副部長をしていました。学校周辺の清掃活動、募金活動、求菩提山の植樹活動などを行う中で、「ありがとう」の一言をもらうと、とても嬉しく、それを糧にまた頑張れる自分があることに気が付きました。そうした体験をきっかけに、地域のため、そこに暮らす方々のために、役に立てる仕事がしたいと思うようになりました。
- Q** 機関紙「まなこ」の編集委員をされているそうですね。
- A** はい。「まなこ」は昭和49年から続く機関紙です。福岡県地域



福祉活動職員連絡会が発行し、日本全国の社協に配られます。原稿依頼や記事の編集作業などとても大変ですが、たくさんの方の協力をいただき、新たなつながりもでき、貴重な経験をさせてもらっています。

- Q** 趣味の時間はとれていますか?
- A** はい!海釣りによく行っています。釣った魚は自分でさばいて料理します。また、バイクが好きで、時にはお尻が痛くなるまでツーリングを楽しみ、仕事の活力にしています。
- Q** 議会だよりは読んでいますか?
- A** もちろんです!議会だよりは、町の広報と同様に、とても大事な情報源です。議員の皆さんの視点やご意見を大切にしながら、地域福祉の向上のためにこれからも頑張ります。

全国町村議会議長会並びに 福岡県町村議会議長会表彰

このたび、全国町村議会議長会並びに福岡県町村議会議長会表彰を2名の議員が受賞されました。受賞されたのは、福岡県町村議会議長会の理事として町村議会の運営、地域の振興発展に功労のあった宮崎昌宗議長、議会議員として15年以上在職し功労のあった峯新一議員です。

3月の定例会初日の冒頭に本会議場で議長から報告があり、賞状が手渡されました。おめでとうございます。



▲宮崎議長

▲峯議員

議会傍聴のご案内

6月定例会の予定

6月1日(火) 午前10時
本会議(開会、議案の説明・質疑)

6月3日(木) 午前10時
本会議(一般質問)

6月11日(金) 午前10時
本会議(討論・採決)

日程については変更になる場合があります。会期日程は、町長招集告示の後、5月28日開催予定の議会運営委員会にて協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を18席とすることや入場時の検温などにご理解ご協力をお願いします。

■開催場所 たいへの里(大平支所)2F議場

編集後記

田中 唯登志

「春眠暁を覚えず」・・・「春の夜はぐっすり眠れるものだから、朝が来たのに気づかず寝過ぎてしまう」という意味です。冬の寒さも和らぎ、春めいてくる季節となり、うっかり寝過ぎてしまった人もいることでしょう。しかし、歳をとると目覚めが早くなったり、花粉症などに悩まされて熟睡できない人も多いことでしょう。もう一つの悩みといえば、「新型コロナウイルス感染症」ではないでしょうか。感染対策のために職場はもとより、日常生活にも多くの犠牲を強いられ、我慢の日々が続いています。

そんな中、東京2020オリンピック聖火リレーは2021年3月25日に福島県のナショナルトレーニングセンター「ヴィレッジ」でスタートを実施し、東日本大震災から10年となる節目に行われます。復興の歩みを進める被災地をはじめとする全国各地を隔々まで回り、日本全国の人々に希望と勇気を与えていきます。

コンセプトは「希望の道を、つなごう」くじけぬ力や一つになって取り組む力の象徴となる東京2020大会の開催に向けて、新型コロナウイルス感染症を乗り越えた先にある人類の希望を全世界の人々に示していきます。

議会広報特別委員会

委員長: 三田 敏和 副委員長: 岩花 寛之
委員: 荒牧 弘敏、廣崎 誠治、田中 唯登志、友岡 みどり、高西 正人



議会がチェック! 今年度の注目事業!

新体育館建設工事を含む 賛成多数で可決!

令和3年度一般会計予算

予算額 **58億8000万円**
(8%増)



3月議会では、報告1件、条例案4件、補正予算8件、当初予算8件、その他6件を審議し、いずれも可決しました。
(賛否は8P・9Pに掲載)

令和3年第1回定例会(3月議会)は、3月2日(火)から12日(金)までの11日間の会期で開催しました。
令和3事業年度上毛町土地開発公社事業計画及び予算の報告、令和2年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例の制定及び条例の一部改正、令和3年度一般会計予算及び特別会計予算などを慎重に審議しました。

新 新規 **継** 継続

その他独自事業

新 総合計画後期基本計画策定事業

第2次上毛町総合計画後期基本計画(令和4年度～令和8年度)の策定業務。

441万円

継 ふるさと納税事業

寄付金の増加を図るため、基準に適合した品を積極的に投入し、将来にわたって安定的な財源確保に繋がる町独自の特産品の魅力向上とPR強化に取り組む。

1億6755万円



条例

議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担

選挙運動用自動車、選挙運動用ビラ、選挙運動用ポスターが公費負担になる。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

ごみ袋の価格(手数料)を見直し、豊前市、吉富町との価格の均衡を図る。
※詳細は「資源とごみの分別ガイドブック」などで確認してください。

その他

財産の処分(たいへい苑などの土地)

旧診療所、たいへい苑、さざんか荘などの土地を今後引き続き円滑な施設運営、良質な福祉サービスの提供、地域医療の確保のため、当初の契約のとおり、当該法人に売却する。

相手先:社会福祉法人 敬愛会
売却予定価格:2980万円(21筆、約15,600㎡)

たくさんの人で輝く町へ

継 大池公園開発事業

新たな観光拠点作りとして、出島部の園路整備とトイレの新設を行う。

1億353万円

園路整備工事費:1353万円
トイレ建築工事費:9000万円

新 森林環境整備事業

国の森林環境譲与税を財源に作業道を開設し、計画的な森林整備につなげる。

429万円

今年度:大畑作業道(西友枝地区) L=500m W=2.5m

継 町有林管理事業

間伐などを行い、町の財産である町有林を保育し、適正な維持管理を行う。

2989万円

今年度計画:収入間伐14.14ha、保育間伐・枝打ち1.29ha
除伐0.80ha、主伐4.6ha ※木材は新体育館に使用予定。

継 体育館建設事業

旧村時代に建てられた体育館2館を集約し、多様な交流を促進するコミュニティ型体育館をげんきの杜の東側に建設する。

12億3680万円

総事業費:27億4360万円
※建設:令和3年度・令和4年度
※供用開始予定:令和5年度

継 大ノ瀬官衙遺跡活用事業

官衙遺跡の景観作物は近隣のコスモス畑と差別化を図るため、多くの種類の花が観賞できる公園として活用されている。(令和元年度～令和3年度)

2677万円

令和3年度は花公園の検証年度となり、令和4年度以降の活用方法が検討される。



令和3年度一般会計予算

心から笑顔で輝く町へ

新 ケアトランポリン健康運動教室

転倒防止用の手すりがついたケアトランポリンを使い、衰えてきた足腰の回復、脳機能の回復や参加者同士のふれあいによる健康寿命の延伸を目指す。
内容:24名、40回(年)開催
※最終回で機能回復の度合いを測定する。

84万円



継 防災無線デジタル化事業

現行のアナログ方式による電波は令和4年12月以降使用できないため、デジタル化へ移行する。

1億4975万円

設計:令和元年度 工事:令和2年度～令和4年度
総事業費:4億7333万円 運用:令和5年度～

子どもが輝くまちへ

継 放課後児童クラブ事業

小学生全学年に対応して3箇所のクラブ運営により放課後児童の健全な育成を図る。

7184万円

継 ICT活用事業

タブレット、電子黒板及びデジタル教科書等のICT機器を日常的に活用し、児童生徒の資質・能力の育成を目指す。

1279万円



ポストコロナ時代の新しい未来へ

新 新型コロナワクチン接種事業

町が実施予定の新型コロナワクチン接種を円滑に行うための体制整備
接種場所:げんきの杜

2495万円

新 任意PCR検査費用助成

新型コロナの感染拡大防止のため、無症状者が行うPCR検査費用の助成

180万円

対象者:町内在住の無症状者でPCR検査を希望する者
助成額:検査費用の1/2を助成(上限10,000円)
回数:同一年度内に2回

新 医療・介護従事者等一時避難支援事業

家庭内・職場で陽性者が出て、自宅での居場所が困難や感染の不安を抱える町内医療機関・社会福祉施設に従事されている方の宿泊場所を確保する。
宿泊場所:ログハウス 2棟

219万円

輝くまちの基盤づくり(住みよいまちの実現)

継 胃がん検診、乳がん検診の公費負担

●胃がんリスク検診(ピロリ菌、ヘプシノゲン検査) 全額公費負担
●乳がん検診(乳腺のエコー検査) 自己負担300円

310万円

臨時会では、専決処分の報告1件、専決処分の承認1件及び、補正予算など2件を審議し、いずれも可決しました。
(賛否は9Pに)



新型コロナワクチン接種関連費用

補正予算 **2165万円追加可決!**

令和3年第1回臨時会は、2月12日(金)に開催しました。南吉富放課後児童クラブ館設計の一部変更による工事請負契約の専決処分の報告、ふるさと納税寄付金収入見込みが上回る状況による関連経費増による予算の専決処分、南吉富放課後児童クラブ館新築工事請負契約の変更契約締結及び新型コロナ感染症防止対応のための一般会計補正予算を慎重に審議しました。

令和3年第1回臨時会

専決処分の報告

南吉富放課後児童クラブ館新築工事請負契約の変更(第1回)

406万円増

工事請負契約について、工事を実施した結果、設計の一部を変更する必要が生じたため契約金額を変更したものの。

専決処分の承認

令和2年一般会計補正予算(ふるさと納税)

2億3046万円増

ふるさと納税による寄付金収入が見込みを大きく上回る状況になったため、関係経費を増額するもの。

変更内容: 寄付額1億円→3億3000万円

変更契約の締結

南吉富放課後児童クラブ館新築工事請負契約の変更(第2回)

440万円増

予定価格5000万円以上の工事請負契約の変更契約の締結について、契約金額の変更額の累計が500万円以上となったため、議会の議決を必要とするもの。

補正予算

新型コロナウイルス感染症対応

2165万円追加

国の新型コロナウイルス感染症に関する交付金、補助金を活用するもの。

- ウイルス対策用高機能マスク購入: 429万円
- ワクチン接種対応経費: 1686万円
- 医療従事者・介護従事者等一時避難支援事業: 24万円
- 任意PCR検査費用助成25人分: 25万円
- ※PCR検査助成金は4月以降も実施予定



▲ワクチン接種シミュレーション

委員会報告

各常任委員会に付託された議案の審査状況については、本会議で報告されています。

※主な施策の予算に関する額などの概要については、2、3ページをご覧ください。
※審議された議案の主なものについてのみ掲載しています。

文教厚生 常任委員会

ごみ袋代の減額など 6案件を審査

▼ごみ袋手数料の改定に伴う条例改正(議案第13号)

概要■同一処理する豊前市・吉富町の手数料とのバランスと、コロナ禍による住民負担の軽減を考慮し改正するもの。
■清掃組合で統一した袋と価格にできないか。

■豊前市、吉富町との考え方や財政状況が違う中、早期の統一は難しい。
■全国的に見ても現在の価格は安価であり、ごみの減量化を目指すためにも値下げすべきではないのでは。

■手数料の統一、他市町とのバランス、コロナ禍であることの3点を理解してもらいたい。

■住民への周知方法は。

■閲覧と広報誌による周知を行う。

(賛成多数で可決)

▼国民健康保険特別会計予算(議案第18号)



▼後期高齢者医療特別会計予算(議案第19号)

概要■後期高齢者の医療費等に関する特別会計予算1億4452万円。

■一人当たり医療費の推移は。
■平成29年度1022万円、平成30年度114万円、令和元年度114万円。今年度も横ばいを見込んでいる。
(全会一致で可決)

総務産業建設 常任委員会

選挙運動の公費負担、 ゆいぎららの指定 管理など10案件を 審査

▼町議会議員と町長の選挙運動を公費で負担する条例の制定(議案第11号)

概要■公職選挙法の改正に伴い、①選挙運動用自動車の使用②選挙運動用ビラの作成③選挙運動用ポスターの作成を町が負担するもの。
■具体的な手続きは。

■業者との有償契約後、選挙管理委員会に届出し、選挙後に業者からの請求に対して町が直接支払いを行う。
(全会一致で可決)

▼ゆいぎらら利用料金の改正(議案第12号)条例改正

概要■宿泊代やグラウンドなどの利用料金の上限額を改めるもの。
■値上げにより利用者が減るのではな

いか。
■近隣類似施設を参考にしている。可決後に指定管理者と再度協議を行い、料金を設定する。

■引き上げによる増額の見込みは。
■約80万円の増額を見込んでいる。
(全会一致で可決)

▼ゆいぎららの指定管理(議案第15号)指定管理者の指定

概要■令和6年度までの3年間、西友枝体験交流センター運営委員会を指定管理者として指定するもの。
(全会一致で可決)

▼農業集落排水特別会計予算(議案第20号)

概要■八ツ並・吉岡地区と土佐井地区で行う農業集落排水の特別会計予算6809万円。
■戸数の増は。

■1世帯4人。

■施設の維持管理業務委託料が増加傾向にあるが。

■平成30年には、施設が15年を経過し管理工程が増えたこと、今回は管理技術者の人件費の増加によるもの。
(全会一致で可決)

▼簡易水道特別会計予算 (議案第21号) 概要■簡易水道特別会計予算1億1785万円。

○京築水道企業団からの受水量は。 ○1日800トンの責任水量の内、650トンを受水している。(全会一致で可決)

▼新町建設計画の変更 (議案第27号) 概要■合併特別債の発行期間延長に伴う計画変更。

○合併後、山間部と平野部の格差が進んでいるように感じる。格差が広がらないよう新町建設計画において考慮できないか。

○全域を同時に発展させるというのは不可能である。できることから手を付け、全体に波及効果を及ぼしていきたい。

○新体育館の果たす役割をしっかりと位置付け、人口増、定住施策にインパクトを与えるようなものが必要ではないか。

○新体育館の位置付けについては次年度策定する総合計画の後期基本計画に盛り込んでいきたい。(賛成多数で可決)

○新体育館の財源内訳は。 ○国庫補助金2億4000万円、基金からの繰入金14億円、起債が10億円、一般財源から約1億円を予定している。

○町債の償還金額は。 ○10年間の償還で年間1億円。

○経常収支比率の上昇や、予算の弾力化が減らないか。

○経常経費の抑制なども行いながら、交付税などの動向を見極め、年度毎にしっかりと対応していく。

○盛土工事の予算は。 ○約7000万円を予定している。

○入札方法は。 ○指名競争入札を予定している。他自治体の事例を参考にしたい。

重点施策③子どもが輝くまちへ(子育て支援・教育の充実) ●放課後児童クラブ運営 概要■小学生全学年に対する3箇所のクラブ運営(7184万円)

○防犯カメラの設置場所は。 ○各教室に設置予定で、南吉5台、西吉2台、大平3台を予定している。

●ICT機器の活用 概要■一人1台のタブレット端末による主体的・対話的な学びの実現や学校運

予算決算 常任委員会

令和3年度 約58億円の予算を 審査

▼令和3年度一般会計予算 (議案第17号)

概要■歳入歳出予算総額58億8000万円(前年対比4億3400万円増) 令和3年度においては、6つの重点施策により予算が編成された。重点施策ごとの主な事業の概要と質疑を掲載。

重点施策①ポストコロナ時代の新しい未来へ(新型コロナウイルス感染症対策と町民生活への支援) ●新型コロナワクチン接種

概要■ワクチン接種を円滑に行うための体制整備(2495万円) ○町内の医療機関でも接種できるようになるか。

○豊前築上医師会より医師の派遣を受け事業を行う。個別接種はまだ見通しが立っていない。

重点施策②たくさんの人で輝くまち

○宮情報の一括管理システムの導入(1279万円) ○ICT支援員などの委託は検討しているか。

○タブレットの納入業者でカバーできるか判断し必要に応じて検討したい。

重点施策④輝くまちの基盤づくり(住みやすいまちの実現) ●がん検診

概要■胃がんリスク検診、乳がん検診の助成(310万円) ○がん検診の予算が増加しているが内容は。

○胃がん検診のデジタル化に伴う金額増である。

●地籍調査 概要■土地の立会調査を行い、図面や地籍簿の作成(232万円) ○地籍調査の進捗は。

○当初の計画よりも遅れているが、成果物が出るよう取組みを強化していく。

重点施策⑤心から笑顔で輝くまちへ(安心・安全と優しい暮らしの実現) ●ごみ袋の価格改正 概要■ごみ袋手数料の改定 ○ごみ袋の値下げにより、今後ごみは必

へ(定住・交流人口の増加と社会参加)

●地デジ放送による広報サービス 概要■九州朝日放送と連携し、災害時の情報をリアルタイムで周知できるようにするもの(70万円)

○全ての世帯で見れるのか。 ○各地デジ対応テレビのDボタンを押さなければ見ることができないが、多くの世帯がデジ放送に対応しており、インターネットの環境がない世帯に利用してもらいたい。

●未来へつなぐ平和の架け橋 概要■広島・長崎の爆心地の中間点である本町で、平和の願いを未来に繋げるため、町内児童を対象に平和創作劇の上演や原爆写真ポスター展などの開催(116万円)

○広島島や長崎との共催事業ではなく毛町の単独事業か。 ○単独事業である。

○令和2年度はコロナ禍で事業が中止になったが、YouTubeなどを活用する考えは。

○出演者と協議し、検討していきたい。

●大池公園開発 概要■西側園路改修(1353万円)、西側トイレ建設(9000万円) ○トイレを東側駐車場に建設したほう

ず増える。再考の余地は。 ○今回は手数料の不均衡を揃えた。3市町で今後十分協議する。

○3市町で調整できないのがおかしい。早急に対応できないか。

○現段階では難しいがリーダーシップを取って働きかけを行いたい。

●ブロック塀撤去助成 概要■通学路や避難路等に面する危険なブロック塀の撤去費用助成1/2上限16万円 ○道路沿いで危険な高さのブロック塀もある。町独自の補助は。

○今後の課題としたい。

●防災 概要■消防団員などの非常備消防費(1091万円)、防災無線等消防設備費(1億5657万円)、京築広域消防負担金(1億3343万円) ○各自治会から防災訓練などの要望が

上がれば対応可能か。 ○県の助成もあるので実施できるように検討したい。

○火災の際、防災無線でしか情報が流れないが、SNSでも発信できないか。 ○火災情報は消防署が遠隔操作で発信しており、現段階で連携は難しい。防災無線のデジタル化事業で対応を検討し

が利便性があるのではないか。

○課内で十分協議したが親水テラスのイベントなどでトイレが必要である事を重視した。

○防犯面の配慮は。 ○指定管理者と協議し防犯カメラの設置などを検討する。

○牛頭天王公園のトイレとの違いは。 ○牛頭天王公園は木造であり、大池公園は鉄筋コンクリート造となっている。

●松尾山修験道パンフレット作成 概要■松尾山修験道遺跡のパンフレットを刷新し、町内外へPRする ○観光地としての魅力及び整備は十分か。

○以前石畳の通路を改修しており、看板の設置も行っている。

○上宮の改修を地元の方が行っているがその他の支援は。

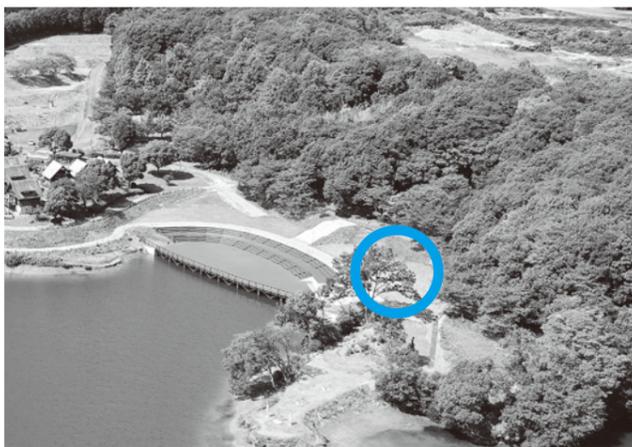
○宮教分離の原則があるが、行政として保存会などと連携しバックアップしていきたい。

●新体育館建設 概要■多様な交流を促進するコミュニティ型新体育館を定住ゾーンに建設することで定住促進・生涯スポーツの推進・地域コミュニティの醸成を図る。(総額27億4360万円※令和3年度12億3680万円)

ている。

重点施策⑥その他独自策(各セクションの業務における高福祉実現のための問題解決策や地方創生のモデルとなる事業)

●ふるさと納税 概要■自主財源と町のPR、産業活性化を目指し、ふるさと納税制度を活用している。安定的な財源となるよう町独自の特産品の魅力向上やPR強化に取り組む。今年度予算額3億円



大池公園西側トイレの建設予定地

一般質問 ここが聞きたい!

「一般質問」とは

町の行財政全般にわたって、執行機関(町政)に対し、一般事務や将来の方針などについて質問し、所信を求めることです。町民の生活に関わる身近なことが、議員の一般質問により、改善されたり新たな事業が始まったこともあります。

議員は年4回の定例会で一般質問をすることができ、定例会開会前にあらかじめ質問内容を提出し、執行機関が答弁を考えます。質問する議員一人につき60分の持ち時間があり、その時間内であれば何回でも質問を繰り返すことができます。

全文詳細はHPに後日会議録として掲載されますのでご覧ください。

第1回定例会一般質問(3月4日(木)・5日(金))

高西 正人 議員

町のSNSの活用内容は

堀企画情報課長

災害時も含めた町の情報発信手段



■ 全般的な状況は。
堀企画情報課長 フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ、ツイッターを活用している。また、防災無線のデジタル化や地デジ広報を活用し、災害情報などをテレビを介して提供する整備を今後進める。

■ 各SNSの状況は。

堀課長 フェイスブックは、フォロワー数が611人、商工会青年部が開催した上毛ドライブスループロジェクトや、新型コロナウイルスに関連した投稿に多くの閲覧があった。インスタグラムは、フォロワー数が186人で、最も「いいね」の数が多かったのは、「大池どんぐり」と題した、大池公園を利用された方が園路を散歩していたときの、お子様の感性豊かなほのぼのとした投稿。ユーチューブは、チャンネル登録者数が68人で、再生回数が3万7777回。うち、今年度完成したPR動画の再生回数が約3万7000回。ツイッターは、フォロワー数が24で十分な活用まで至ってない。

■ SNS自体に変化が起きているという認識はあるか。

堀課長 私たちも活用を始めた写真や動画を活用した情報発信から、現在は対話方式による音声を活用した情報発信へと変化しており、クラブハウスというアプリが全世界で多くの方が利用されている。

るようになったということを感じている。

■ クラブハウスは、どのようなアプリか。

堀課長 18歳以上で、本名を登録しなければならぬ。ルームという枠組みの中で会話を楽しむことから、世界中の人と一緒にの教室にいるようなものと言われている。全てのスマートフォンで利用できるのではなく、iPhoneだけの利用で且つ、招待制。会話の内容は、録音はもちろんだと、書き起こしやメモをすることも禁止で、原則、非公開。活用している自治体もあるが、上毛町が活用するには少しハードルが高いと感じる。

■ 人口争奪戦といわれる中、町長が行政のトップとして、他の自治体との差別化を図り、人口増加策へ繋げるため検討する価値があるのではないか。

坪根町長 詳しいことを認識していないので、担当課長とともにしっかり勉強しながら、少しでも人口増加につながるのであれば、検討していきたい。

■ ツイッターによる情報伝達機能の構築を、セーフティネットの一つとして利用しては。

堀課長 ツイッターについては、特に拡散力の強いSNSと言われている。町内外の方が町内に住



▲上毛町が発信しているInstagramとYouTube画面

感染症対策 本町の現状は

■ 「新しい生活様式の定着」による県からの協力要請が出ている。
出勤者の7割削減を目指す在宅勤務やテレワークなどの推進努力の指示に対する本町の現状は。
永野総務課長 新型コロナウイルスのまん延防止の徹底と出勤抑制の要請であるが、本町の業務内容は対面式が多く職員数からもオンラインシフト勤務・テレワークの導入は厳しいと認識している。

■ 20時以降の残業抑制・不要不急の外出自粛の取り組みは。

永野課長 特別な場合を除き20時以降の勤務抑制、勤務外も不要不急の外出自粛、3密や感染リスクを避ける行動の厳守を職員に徹底している。また、飲酒を伴う懇親会、大人数や長時間の飲酒を含む外出回避も徹底できていると考えている。

■ 職員の出張、町外移動及び町外からの来庁者に対する具体的な対応は。

永野課長 出張に関しては、内容を十分に検証し、各課長が慎重に判断している。特に、福岡市、北九州市への出張は気をつけている。来庁者には、本庁正面玄関に検温器付きのオートディスプレイ、

支所には非接触型検知器を設置し対応している。



▶ オートディスプレイ

■ 本町において発生した感染者の感染ルート説明や原因などの調査は。

園田子ども未来課長 感染が確認された場合、まず医療機関から管轄の保健所に発生届が提出され、保健所が陽性者本人に確認し、濃厚接触者の特定を行う。県が公表する前に保健所から居住地の自治体に連絡がある。感染ルートは保健所が調査を行い、確認できた範囲で県の新型コロナウイルス感染症ポータルサイトで公表される。

■ 町主催の会議や式典、イベントなどの開催は緊急事態宣言が解除されたことによりどのように変わるか、今後の判断の見通しは。

園田課長 国や県から示されたガイドラインに基づき判断している。地域により感染状況が異なるため、イベントなどの中止や延期、

また施設の制限内容について町の対策会議で総合的に判断している。町内各地区の行事や会合、共同作業の実施については、町から中止や延期などの要請はしていない。各自治会の判断による感染対策を十分行った上で実施するようお願いしている。

■ 新型コロナウイルス関係で失職、解雇、時短などにより生活苦に陥っている家庭からの相談などや社会的孤立者、困窮家庭などの把握、確認は。

垂水(英)長寿福祉課長 生活困窮世帯に対する支援策は様々ある。町では生活保護、社会福祉協議会では生活福祉資金のコロナに係る特別貸付もある。県も生活困窮者自立支援事業を行っている。また、生活保護申請は、令和3年1月末時点で17件ある。なお、町の窓口ではコロナ禍による解雇・時短など確認できるものはない。

大池公園の利用者に関する対策は

園公園の利用者は増加しており、事件、事故などの発生に備えた対策が早急に必要と考えるが、熊谷開発交流推進課長 外灯や防護柵が設置され、遊具については、安全利用ができるように法定

点検を実施するなど事故の未然防止に努めている。防犯面では、木の伐採や外灯の整備で改善されていると認識している。

■ 事件、事故を未然に防止する点から防犯カメラの設置が必要不可欠ではないか。

熊谷課長 犯罪などの未然防止対策の重要性については、十分認識している。近隣の公園で設置しているところなどを参考に今後検討していきたい。

■ 公園利用者の増加に伴い、ごみのポイ捨て、犬のフンの放置などが目立つが対策は。

熊谷課長 公園利用の注意事項に関する看板を13ヶ所設置し利用者には注意喚起を促している。また、職員が週3回見回りごみを持ち帰るなど公園美化に努めている。



▲大池公園園路

宮本 理一郎 議員

新型コロナ対策の今後の見通しは

園田子ども未来課長

国県のガイドラインに基づき対応



三田 敏和 議員

耕作面積を測定すべきではないか

円入産業振興課長

十分理解しているが対応できない

園上毛町における圃場整備の現状は、圃場整備課長 事業単位で28か所、面積は合計で763ha、整備率は、97.7%。

園工事完了後、数年経っても排水不良があるが対応は、

円入課長 実施後、補完工事として暗渠排水の対応をしているが、排水不良があることは認識している。

圃場整備後の管理に問題はないか。

円入課長 一部で表土が少なく、耕作に支障があり、借手もない状況で耕作放棄地になっている。果樹などへの転換も必要と考えている。

圃 中山間地域において、合併当時の畦畔率は、旧大平村4%、旧新吉富村5%であり、合併後に、その畦畔率を平野、中山間、山間地域の3区分に見直すべきと提案したが、その後どうなっているか。

※畦畔率とは水田面積に占める畦畔面積(のり面などの作物の作付けが不可能な農地)の割合。

円入課長 圃場整備地区を大字別に航空写真から平たん地5%、中山間地10%、山間地を15%として算出をしている。

圃 山間地では現実に耕作面積が著しく狭いところがある。金を掛けて測量すると20%から30%を超

える圃場もある。対応すべきではないか。

資源ゴミの分別対応は

園上毛町、豊前市、吉富町の1市2町で清掃施設組合を運営して、焼却及び再資源化に取り組んでいる。対応が違うのはおかしいがなぜか。

垂水(勇)住民課長 カンとペットボトルの出し方が大きく違う。豊前市は、透明な袋に同梱できるが、上毛町と吉富町は、カンとペットボトルは別々の専用袋に入れて出すようになっている。

圃 清掃施設組合では、わざわざカンとペットボトルを混ぜているが、その後どうなっているか。

垂水(勇)課長 専用袋で出しても、処理時にはカンとペットボトルを一緒にしてベルトコンベヤーに乗せて処理をしている。

圃 混在をさせないと、作業ができない。別々の袋になるとコストもかかるか。

垂水(勇)課長 専用袋の在庫の状況を見て対応することとし、住民の分別意識を高めていくため引き続き、カンとペットボトルは別々に乗せて処理をしている。

圃 分別は、処理の方法によって行

の専用袋に入れたほうがよいと判断した。

圃 分別は、処理の方法によって行

園 分別ガイドブックを3年に一度の更新ではどうかと提案したが状況は、

垂水(勇)課長 令和4年度に豊前、吉富、上毛と合わせて3年版の発行をした方が、今後の事務処理上都合がよいのではないかと協議を進めている。

圃 分別ガイドブックを3年に一度の更新ではどうかと提案したが状況は、

垂水(勇)課長 令和4年度に豊前、吉富、上毛と合わせて3年版の発行をした方が、今後の事務処理上都合がよいのではないかと協議を進めている。

圃 分別は、処理の方法によって行

圃 分別は、処理の方法によって行

新型コロナワクチン接種の対応は

圃 ワクチン接種の準備状況は、園田子ども未来課長 2月初めワクチン接種プロジェクトチームを設置。関係課で連携し、接種に向けた協議を行っている。

圃 高齢者は心配している。他市町では、HPでも発信している。素早い発信をすべきではないか。

園田課長 個別チラシ、HP、広報、さらには防災無線などにより、決まり次第随時お知らせする。

圃 65歳以上の優先接種時期、規模は、

園田課長 現時点で5月になる可能性もあると認識している。65歳以上は約2800人程度で、接種券の発送は4月中旬以降の見込みとなる。それ以外の方、約3800人程度はインフルエンザの流行時期前(秋口)までに終わらせたいと考えている。

圃 会場の配置、接種に関する訓練は、

園田課長 3月19日、医師会から医師の派遣、住民の方は、民生委員や食生活推進委員に住民役として、実際の流れに沿った接種シミュレーションを計画している。

廣崎 誠治 議員

イオニアカード配布の施策は

永野総務課長

良い施策であったと考えている

イオニアカードに対する措置命令についての対応は

圃 新型コロナウイルスの拡大防止対策にて、町が購入、配布したイオニアカードに対し、昨年末、消費者庁から販売会社に対し、効果の表記が誤解を招く恐れがあるとのことで、改善についての措置命令が出されたが把握しているか。

永野総務課長 12月20日に措置命令があった時点で把握している。

圃 令和2年12月議会で、効果があ

も効果があると思っっているか。

永野課長 その時点で答えた効果というの、議員に配付したパンフレットで概要などを説明したものである。内容は、花粉、PM2.5、消臭、抗ウイルスという密閉試験での効果はあると認識している。

圃 措置命令により、町は損害賠償を請求する考えはないか。

永野課長 顧問弁護士との相談で、今回の措置命令は、サルデーラポのウェブサイトの広告表示に関するものであり、製品には今のところ問題がないということ。現時点では考えていない。

圃 指摘を受けたカードを配ったことについて、良い施策であった

と思っっているか。

永野課長 措置命令を受けたことは残念であると思っっている。この施策は、コロナ禍で住民の皆さんに何かできないかと思っ行ったものであり、良い施策であったと考えている。

今後の学童保育は

圃 令和2年度、総工費2億6290万円をかけて、南吉富放課後児童クラブが完成するが、今後の西吉富、友枝、唐原の学童保育に関する整備計画はどのように考えているか。

園田子ども未来課長 新たな施設整備が必要になった時点で、様々な選択肢の中から最も良い形の整備を行っしていきたい。唐原小学校区については、移送を伴わない校区内での学童運営が待ち望まれていることから、どういう形で整備すべきか、様々な方法も含めて検討を行ったい。

圃 学童保育所の整備計画は存在する

のか。



南吉富放課後児童クラブ館

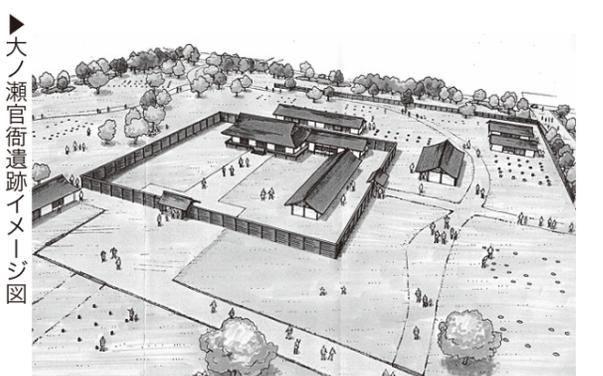


に沿っ進めていく。

大ノ瀬官衙遺跡復元計画は

圃 道の駅の利用者増加、歴史学習のため、さらには地域の発展などを考えれば、復元建築を行ったら大きく評価されると思っ。8世紀末にあっこの遺跡は、町長の言っ九州一の歴史的遺産になると思っが、再建築の意思は、

坪根町長 議会にいたときから、復元をどうするか非常に関心を持って、職員に伺っっていたが、前向きではなかつた。当時から敵しいという感覚であつたと思っている。まして、補助金が非常につきにくい状態の中で、これを建て、それだけの集客ができると思っっていない。今の時点でそういう考えは持っっていない。



大ノ瀬官衙遺跡イメージ図



安元 慶彦 議員

公文書の管理は

永野総務課長

規程により適正に管理している

図 秘扱いの文書の取扱いは、規程において「人事文書やその他重要な取扱いを必要とする文書の取扱いについては、あらかじめ総務課長の承認を得て、この訓令の定めによらないことができる」ことになっている。

図 秘扱いは、閲覧とか貸し出しは原則禁止されているか。
永野課長 秘扱いなどの文書としては、現存するのが人事関係の文書になると思う。他の文書については、一応公文書として位置付けをしており、地方自治法の本旨に基づいて市民の知る権利に則り、町の諸活動を市民に証明する責任を全うするとともに市民の町政に対する監視と参加を一層促進し、もって公正で開かれた民主的な町政の発展に資することを目的として、別に定めている情報公開条例により原則公開している。

図 秘扱いの文書は、別に保管されているのか。
永野課長 金庫など施設ができる形で管理している。



茂呂 孝志 議員

イオニアカード購入業者の説明は

永野総務課長

効果が期待されると説明された

図 イオニアカードの販売代理店から、この商品は確かな効果がある」と説明されたのか。効果が期待されると説明されたのか。
永野総務課長 販売業者から密室空間の検査、試験結果であるが、花粉、アレルギー物質、PM2.5、ウイルスなどを体内に吸い込むリスクを下げる効果が期待されるとの説明があった。

図 町はこの商品の購入を昨年9月30日に専決処分した理由について、製造・販売元の業者に在庫が少ないので早急に購入するためと説明されたのか。
永野課長 町はインフルエンザ流行前に新しい支援策として、11月から全市民にカードを配ることを考えたため、8千枚のカードを確保し、町名などの印刷にかかる時間を考えると議会に諮る時間がないと判断して専決処分を行った。議会を軽視しての専決処分ではないということを理解願いたい。

図 製造元の1日の生産枚数は、把握していないか。
永野課長 把握していない。

図 仮に1日千枚の生産能力があれば、数日間商品確保できる。その後、逐次印刷作業に送り込む、11月からの配布に間に合う。10月に議会を開催できたのではないのか。
永野課長 責任の所在は、サル・テ・ラボ株式会社へ帰属すると考えている。

図 消費者庁は、この商品の製造販売業者に景品表示法に違反するとして措置命令を行ったが、町はこの責任の所在はどこにあると考えているのか。
永野課長 責任の所在は、サル・テ・ラボ株式会社へ帰属すると考えている。

図 町が購入した製造・販売元の業者は、消費者庁から商品表示法違反の措置命令を受けたことで、町は被害を受けたという認識なのか。
永野課長 販売代理店との物品売買契約により履行が完了している。町が被害を受けたという認識はない。このカードを配布した趣旨に反し、消費者庁の措置命令によりビラなどが配られ、市民の皆さんにマイナスのイメージが発生したと考えている。

図 製造元の生産能力を確認しないことは、専決処分ありきではなかったのか。
永野課長 契約日から納品まで約1カ月かかるため、9月28日に専決予算を確保して、9月30日には契約する必要があったため専決処分を行った。

教育関係は

図 文科省が令和3年度から5年間で小学校の学級編成を変更する方針を決定したが、その内容は、道免教育長 本年2月2日に公立小学校の2年生以上の学級全てを35人学級とするという、公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律（義務教育法）を改正することが閣議決定された。3月2日に衆議院を通過し、参議院に送られている状況である。内容は、現在既に小学校1年生は35人学級になっているが、これを令和3年度は2年生まで、そして、令和4年度は3年生までと順次対象学年を増やし、令和7年度に全ての学年を35人学級にするというものである。

図 今回、変更の主な要因は、道免教育長 大きな要因の一つは、コロナ禍の中、学校における教育活動では、社会的距離、いわゆるソーシャルディスタンスをしつかり取って、感染防止を図ること、で、定数の削減、学級編成の基準が引き下げられたものである。もう一つはGIGAスクール構想のもと、1人1台の端末などが整備されてきているが、児童生徒の個別最適な学びと言われる、一人ひとりの教育的ニーズに応じた環境を整備するという、この2つの要因から今回の改正に至ったというふうに理解している。

新体育館建設は

図 国が示す総事業費、補助額、補助率、延床面積はそれぞれいくらか。
村上教務課長 国が一律に示す事業費というものは無い。補助率は国が毎年定める単価に延べ床面積を乗じた金額の3分の1となっており、令和3年度・令和4年度の2ヶ年での補助額、約2億4千万円を見込んでいます。

図 新体育館の運営における年間の維持管理費の算定と財源確保は、



建設が予定されている農業者トレーニングセンター跡地（白線部分）

村上課長 実施設計中なので確定していないが、運営費の財源確保は指定管理者制度を活用し、例えばセレクトショップ、イベントなどで収益につなげ、可能な限り経費の削減に努める。

図 新体育館建設工事以外の周辺整備の費用は、
村上課長 実施設計をしていないので、費用は示せない。今後、一体的な整備を計画していきたい。

学校給食費の負担軽減は

図 国は給食費も教育の一貫として捉えており、給食費を無償化している自治体もある。現在、町は給食費の2割程度を補助しているが、給食費の半額補助に必要な予算は、
村上課長 小・中学校合わせた年間の給食費は3600万円となり、半額補助には1800万円の財源が必要である。



図 教育長の私見から理想とする人数は、

道免教育長 私40人を超える学級、あるいは複式の学級を担任したこともある。その経験と昨今のいじめ、不登校の増加や、いわゆる学習面や行動面で特別な支援を必要とする児童が在籍しているようなことをふまえると、25名から30名程度が適当な人数と考えている。



南吉富小学校入学式1年1組



南吉富小学校入学式1年2組

令和3年 第1回定例会開催(令和3年2月24日)

令和3年度 一般会計予算

(千円以下切捨て)

歳入歳出総額 **5億1693万円** (前年度対比 7%増、3411万円増)

◎ 主な歳入

分担金及び負担金	3億9000万円 (前年度比6900万円増)(上毛町8413万円、前年度比1488万円増)
使用料及び手数料	9867万円 (廃棄物処理手数料など)
財産収入	1553万円 (資源物売払収入など)
繰入金	1100万円 (財政調整基金)
繰越金	100万円 (令和2年度繰越金)

◎ 主な歳出

議会費	145万円
総務費	925万円 (職員人件費など)
衛生費	4億1622万円 (塵芥処理費など) ●塵芥処理費 委託料 1億5243万円(前年度対比4316万円増) 上毛町にある焼却灰などの最終埋め立て処分地が9月で満杯になるため、新たに焼却灰等最終処分委託料3906万円が計上されている。 ■焼却灰等最終処分委託料 10月より民間委託 3906万円 ①主灰(ごみを焼却し残った灰) ②飛灰(煙突に付着した灰) ③陶器・ガラスくずなどの3品目 ※委託料については、県内・県外業者からの見積もりにより予算化しており、委託業者の決定は、入札で行われる。 ■ごみ処理施設整備基本計画等策定業務委託料 1655万円 ごみを焼却処理する施設が老朽化しており、建て替えに向けて、施設整備基本計画や廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進する施設整備支援を目的とした循環型社会形成推進交付金を申請するための地域計画を策定するもの。
公債費	8899万円 (リサイクルセンター建設借入債) 償還期限: 令和5年3月



▲最終処分場(下唐原地区)



▲ごみ処理場から焼却灰などを搬出するダンプトラック

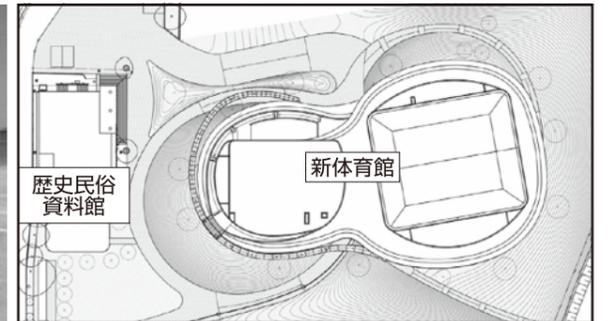
議会全員協議会町内視察

副議長 荒牧 弘敏

3月26日(金)、南吉富放課後児童クラブ館建設など令和2年度の主要事業の進捗状況の把握や、令和3年度から着手する新体育館建設工事予定地の視察を行いました。今後も主要な事業については、現場の視察を行いながら議会活動に活かしていきたいと思っております。



①4月から利用している新たな南吉富放課後児童クラブ館(延床面積531㎡、定員120名)



②今年度から2年間の予定で建設される新体育館は、令和5年度から供用開始予定(建築予定面積3787㎡)



③企業誘致を行うため造成された成恒工業等用地(販売面積17041㎡)



④牛頭天王公園のトイレは、水洗式になり、バリアフリートイレも設置されるなど、誰でも利用できるよう再整備された。また、樹木の撤去など外構も整備されたことで、明るく見通しも良くなっている。今後、多くの方々の来園が期待される。